



2012-7



2012-2013

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2640

- Rー会長メッセージ
- Rー会長プロフィール
- ガバナーメッセージ
- ガバナープロフィール
- 地区方針キーワード
- 第2640地区の杞憂
一年を振り返って思う事
- 直前ガバナー 大澤 徳平
- 直前ガバナー 大澤 徳平様への御礼
ガバナー 北中 登一
- ガバナーエレクト就任のご挨拶
ガバナーエレクト 久保治雄
- ガバナーエレクトプロフィール
- ガバナー補佐紹介
- クラブ会長幹事一覧



国際ロータリー第2640地区

2012-2013年度ガバナー 北中 登一

590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町1丁1番16 C棟14号

TEL:072-224-2640 FAX:072-224-2650

<http://www.rid2640g.org/kitanaka/>



2012-13 年度 国際ロータリー会長 田中作次
RI テーマ

奉仕を通じて平和を Peace Through Service

平和という概念は、人によって、文化によって異なります。心の平安や家族の幸せ、満足感を指す場合もあるでしょうし、人間の基本的ニーズが満たされた安全な状態を指すこともあるでしょう。平和をどのように定義するにせよ、それは奉仕を通じて達成できる目標です。

ロータリーにおいて、奉仕とは、片手間にすることでも、たまに取り組んでみることでもありません。奉仕とは生き方です。それは、思いやりの心を重んじることであり、調和へといたる道です。生活のあらゆる場面で奉仕を実践することによって、私たちは分かち合いの精神を育み、友好を見出し、平和の道を選ぶことができます。

2012-13 ロータリー年度には、平和が私たちの焦点、そして目標となり、ロータリアンの皆さまには、「奉仕を通じて平和を」もたらすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。平和に向けた努力は、すべての人、家族、クラブ、地区、地域、そして国から始まると思います。

ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先すれば、自分よりも他者のニーズが優先され、考え方ががらりと変わり、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。人々を助けよう、人々がもっと幸せになるよう自分にできることをしよう、という気持ちがさらに湧き上がります。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対して心を開くことができます。それは、他人を変えようとするのではなく、すべての人やものが自分に何かを教えてくれること、毎日、新たな成長の機会が与えられることを認識することになります。

奉仕を通じて、私たちは、違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになります。感謝の気持ちを持つと、もっと相手を理解でき、あらゆる人の中に善を見出せるようになります。こうした理解を深めることで、他者への尊重の念が高まり、互いに対する尊重の念があれば、人々は平和に暮らすことができると思います。

ロータリーの奉仕は、さまざまなかたちで平和を助長します。私たちは、クラブと地区で、世界中の地域社会に健康、安全、人間の尊厳をもたらすために活動し、競争よりも協力、自分の儲けよりも公益に価値を置こうという気持ちが、私たち一人ひとりの中に生まれます。自分を見つめることを通じて、私たちは、完璧な人間などいないということ、そして誰もが人から何かを学べるということを理解します。

ロータリー独自の標語、「超我の奉仕」は、奉仕の最高のかたちを表しています。このような奉仕こそ、私たちが歩むべき道であると、私は信じています。この道はロータリアンが築いた道であり、世界のすべての人々が歩むことのできる道です。さらに深い思いやり、満足、寛容、理解へといたる道です。「奉仕を通じて平和を」を標榜するならば、私たちは、自分たち、そして世界のために、さらなる平和へ向けて邁進していくことができるでしょう。

2012-13年度 国際ロータリー会長

田中 作次

奉仕を通じて平和を

朋友ロータリアンの皆さん、私の世代は、戦後に日本で育った最初の世代です。平和を重視するのは当然のことだと思います。自らの国の軍国主義の結末を経験した私たちの世代は、日本が平和を選ぶ大きな決断をした結果、目覚ましい経済発展を遂げていくのも目にしました。

この決断があつてこそ、日本は成長と繁栄を遂げることができたと思います。そのおかげで、子どもたちの世代が安全な環境で成長し、教育を受け、暮らしを向上させることができたのです。また、この決断によって他の国や文化に対する日本人の見方は根本的に変わりました。日本人は心を開き、より寛容になり、もっと深く世界を理解するようになりました。

個人のニーズより、社会のニーズ

さらに、平和を選択したことによって、私たちは前向きな目標に力を注ぐことができるようになりました。

個人のニーズより社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない、伝統的な価値観です。2011年3月に起こった大地震と災害後、数週間、数か月間、私たちが生き延び、復興に努力できたのも、この価値観があったからです。

これは、日本以外の国々にとっても、良い教訓であると思っております。他者のニーズが、自分自身のニーズよりも大切だと思い、社会全体のための共通の目標に向かって力を合わせるようになることができれば、すべてが変わるのです。世界との関わり方が変わります。何を優先するのかが変わります。そして、平和の概念をどのように理解するのかが変わります。

2012-13年度には、「平和」が私たちの焦点であり、目標です。皆さんには、「奉仕を通じて平和を」もたらすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。

他者への尊重の気持ちは平和な暮らしをもたらす

ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先することで、自分よりも他者のニーズ

が優先され、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してもさらに心を開くことができます。他人を変えようとするのではなく、すべての人やものから学ぶことがあると認識することです。

奉仕を通じて、私たちは、互いの違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになるでしょう。そして、もっと相手を理解し、あらゆる人の中に善を見いだすことができるでしょう。こうした理解から生まれる他者への尊重の気持ちが、平和な暮らしをもたらすのだと思います。

今年度、「奉仕を通じて平和を」の精神をもって、ロータリーの目標である平和な世界に向けて邁進していただくよう、よろしくお願い申し上げます。

田中作次





田中 作次 TANAKA Sakuji

八潮ロータリー・クラブ（埼玉県、八潮市）

2012-13 年度国際ロータリー会長

2006-10 年度ロータリー財団管理委員

2003-05 年度国際ロータリー理事

1994-95 年度地区ガバナー

田中作次氏は、株式会社ダイカ会長、全国家庭紙同業界連合会会長、八潮市商工会副会長を務められました。

1975年に八潮（やしお）ロータリー・クラブの創立会員としてロータリーに入会して以来、RI理事、ロータリー財団管理委員のほか、2009年バーミンガム国際大会委員長をはじめとする各種委員会の委員と委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ガバナー、研修リーダーを歴任されました。自身が所属する地区では、バングラデシュに学校を建設する活動に献身されました。

RI超我の奉仕賞およびロータリー財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞された田中氏は、京子夫人とともにポール・ハリス・フェロー、恒久基金ベネファクター、大口寄付者、そしてアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなっています。このほかにも、ロータリー平和フェロウシップ基金を設立されました。

京子夫人とは1963年にご結婚され、現在、埼玉県八潮市にお住まいです。3人のお子さんと6人のお孫さんがいらっしゃいます。

2012-13年度 第2640地区ガバナー

2012-2013年度ガバナー就任に当たり

北中 登一

まさに青天の霹靂、突然、ガバナーを拝命致しました。どんな運命のいたずらか、馬齢を重ねて、いよいよ仏教で言えば、『遊行期』に差しかかる時期、ロータリーという枠から離れ、広く広く自由奔放に、ロータリー精神を心の糧として、余命を楽しもうとしていた矢先の出来事でした。

重責を感じております。皆様方のご理解とご協力なしに、全う出来るものではありません。『袖振り合うも多生の縁』と言いますが、どうぞ、宿世の因縁とおとりいただき、宜しく願い致します。

自身のロータリー人生を静かに振り返りますと、それはそれは波瀾に継ぐ波瀾の連続でありました。1983年9月14日に松原RCに入会させていただきました。会長から青少年交換委員を拝命、ロータリアンとしての第一歩を踏み出したのです。爾来、青少年交換事業一筋に、生き抜いて参りました。ロータリーの『いろは』を知るまもなく、奔走しなければなりません。ロータリーって忙しい所やなあ、と思いましたが、性分にあっていたのでしょう。特に苦痛は感じませんでした。

当時の活動は、専ら短期交換が主で、短期交換学生の来日する夏場は、特に多忙を極めました。そんな中で、交換学生の旗をかざして、走り回っておられる2人の姿がありました。一人は、平岡先生、一人は、螺良義彦(元奈良医大病理学教授)先生でした。私にとっては雲の上の存在でありながら、こんなに身近で東奔西走されているお姿に、深い感銘を覚えたものです。道元禅師の正法眼蔵随聞記の中に、『霧の中を行けば、覚えざるに衣しめる』という言葉がありますが、次第に私の心の中に、ロータリー精神が薫習されていったのです。ある時など、受け入れ家庭がお見えにならない。イライラが募る。45分経ってようやく来られるも、其のときの委員長、よかったよかったと愚痴の一つもおっしゃらなかった。この委員長から、ロータリーとは、「耐える精神」を学ばせていただきました。あるロータリアンが、高校を卒業した息子を交換学生として米国へ留学させてくれとの事、普通なら無理なのに平岡先生は、わざわざオレゴンの委員長と直談判してくださり、条件付きですが、留学のお世話をされました。

このようにして、池に石を投げると波紋が広がるように、「青少年交換事業」がきっかけとなり、ロータリーの基本とは何か、精神とは何か、を学ばせていただきました。「奉仕するうちは、奉仕に心あり、奉仕熟する時、奉仕を知らず、奉仕を知らずして、奉仕する時、真のロータリアン」と、誰かが述べられました。入会当初、気恥ずかしくて、ロータリーバッチを着けて外出できませんでした。馬上のナポレオンをみて、ヘーゲルは、あっ、歴史が歩いていると言ったが、バッチをみて、あっ、奉仕をする人間が歩いていると、思われなくなかったのです。意識していたのです。不思議なもので、ある時期から全く意識しなくなりました。ロータリアン=奉仕人間となってしまいました。

第一綱領に『奉仕の機会として知り合いを・・・』とあります。青少年交換事業は、とても一人で出来る事業ではありません。お互いが一致団結して事に当たらないと、結果的に留学生やクラブにご迷惑をお掛けする。お互いの意見や性格に違いがあるにせよ、これをさておいて先ず、交換事業を成功させるために、一致団結して、東奔西走しました。

この委員会は、他の委員会と違い、1日24時間ずっと奉仕しているような多忙さ、経験したことのない人には到底理解出来ないものです。結果として、委員の間に深い信頼と友情の絆が培われていったのです。この絆、とてもお金では買えるものではありません。ロータリーが私に与えてくれた宝物になっています。



青少年交換委員長の御蔭で、RIの世界大会にもよく出掛けました。OPENING CEREMONY 前に開催される世界青少年交換委員長会議に出席するためです。この会議の御蔭で、世界中の委員長と親しくなり、これが奇縁となり世界社会奉仕活動においても花が開きました。

ブラハの盲人施設に『MINI-BUS』の贈呈、フィリピンへの『車椅子 100 台』の贈呈、ベネズエラでの『Microcredit for Single Mothers』の事業等、困難な壁があった事も事実ですが、成し遂げた後の充実感、経験した人でないと分からないものがあります。

世界を旅して感じた事、それは日本という国は、何と良い国（平和な国）か、という事です。

ロータリアンは奉仕にこだわっている、あるいは意識している間は、まだ真のロータリアンでないと言いました。然るに平和に関しては、平和やなど、意識している間はいいのですが、今の日本人のように平和が当たり前で、悪く言えば、平和惚けしている状態、ここに大きな問題があると思うのです。『衣食足りて礼節を知る』といいますが、礼節も何のその、一向（ひたすら）衣食住の、飽くなき欲望を求めて、ハリネズミのように走り回っている現実、これが本当の平和と言えるだろうか、自問自答したくなります。

くしくも、2012～2013年度RI会長は田中作次氏で、RIのテーマは「奉仕を通じて平和を=Peace Through Service」とされました。田中氏の生まれ育った時代、戦時中はいつ死ぬかもしれない恐怖に脅えながらの毎日、終戦の喜びもつかの間、今度は「食」を確保するための母親との毎日の行商、辛くて厳しい日々の生活の中で、『平和』の有り難さ、身に染みて感じておられたのでしょうか。

田中氏は、今年度3回、平和フォーラムを開催されます。最初はベルリンで、次はハワイで、最後は広島です。いずれの場所も第二次世界大戦の洗礼を受けた場所であり、忘れようとしてなお忘れることの出来ない場所でもあります。人々は「No More War」と叫び、砲火の無い、平和な社会を希求してきました。然るに、砲弾の飛ばない、爆撃機の来ない社会になれば、それで平和かと言うと今度は衣食住がないと生きて行けない事になります。

平和の「和」という字は、禾偏に口という字が書いてあります。禾偏は、稲に関する文字にはみなついてあります。つまりお米の事であります。お米でも、ご飯に炊いて、御馳走が付いて、口のそばへ来たとき、人の心は和やかになるといいます。賤しいようですが、人間は食うことが元であります。

平和という事は、みなが同じように食べていける世界をつくる事が条件だと思います。政治は『貧しきを患えずして、均しからざるを患え』と言いますが、上下の隔てなく、皆同じものを食べて行く所に、和合の力が働き、やがて平和な世界が出現するのです。同じものを食べる事が平和の原則ですが、ただそれだけでは、決して平和は来ないという事であります。“平和の砦は、人の心の中にある”とユネスコ憲章は謳っていますが、平和の問題は単なる物質だけで解決出来ないのです。

そこにもう一つ、“敬”という事が加わらなければ、人格を尊重するという事がなければ、平和はあり得ないという事であります。

『論語』の中に、『礼の用は和を貴しと為す、和を知りて和するも、礼をもって節せざれば、又行われず』という言葉がありますが、礼儀作法というものは、和合が目的であります。しかし、和が大切だからといって、ただ和合すれば良いというものではありません。礼儀作法があつてこそ、本当の和になるのでしょうか。

従って、一口に平和、平和というけれど、なお越えなければならない諸問題が立ちだかっているのも事実です。我々ロータリアンが掲げなければならない理想は、人類の幸福と、世界の平和という事でありますが、一人一人は社会の片隅で、僅かに周囲を照らして行く、実践的な人間にならねば、永久に目的は達成出来ないのです。一人一人が努力して、物事に当たる、『愚公山を移す』の譬えどおり、ロータリアンが一致団結して物事に当たれば、不可能なことはありますまい。

今年一年、まさに一蓮托生、宜しく願いをし、挨拶と致します。



2012-13 年度ガバナー

北中 登一 KITANAKA Toichi

大阪狭山ロータリークラブ（大阪府、大阪狭山市）

生年月日 1941 年 10 月 1 日

最終学歴 1972 年 3 月 奈良県立医科大学大学院卒業
1973 年 4 月 学位受領

職 歴 奈良県立医科大学付属病院
奈良県立医科大学付属分院
北中耳鼻咽喉科医院開院
元松原市医師会理事
社団法人耳鼻咽喉科医会委員
奈良県立耳鼻咽喉科同門会幹事
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本気管食道科学会専門医

ロータリー歴 1983 年 9 月 松原ロータリークラブ入会
1988 年～90 年 地区青少年交換委員
1991 年～94 年 地区青少年交換委員長
1995 年～98 年 地区青少年交換委員長
1996 年 7 月 羽衣ロータリークラブに移籍
1999 年 第 90 回 RI 国際大会（シンガポール）にて SAA
2000 年 第 91 回 RI 国際大会（ブエノス・アイレス）にて SAA
2000 年～02 年 地区青少年交換委員長
2003～04 年 羽衣ロータリークラブ会長
2004 年 4 月 第 95 回 RI 国際大会（大阪）青少年交換副委員長
2008～09 年 ガバナー補佐
2010 年 6 月 羽衣ロータリークラブを退会
2011 年 1 月 大阪狭山ロータリークラブ入会
2011 年 7 月 ガバナー・ノミニー就任
2011 年 11 月 ガバナー・エレクト就任（RI会長の任命）
2012 年 7 月 ガバナー就任

R 財団寄付 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 6 回
ベネファクター 2 回

米山寄付 米山功労者 5 回

2012-13 年度

RI テーマ

『 奉仕を通じて平和を 』 Peace Through Service

RI 2640

地区方針 『 奉仕を通じて幸せを 』 Happiness Through Service
地区キーワード 『 ロータリーの原点に帰ろう 』

ロータリーの綱領の再認識

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある

二つの奉仕理念

1. 職業奉仕の理念 One profits most who serves best

『職業奉仕』の重要性

資本主義は基督教の社会、中でも倫理的な教えの厳しいプロテスタント社会から生まれてきた。初期の資本主義の担い手は敬虔プロテスタントだったわけで、マックス・ウェーバーによれば、彼らは基督が教える隣人愛を貫くために、厳しい倫理規範を守り、労働を尊びながら、産業活動で得た利益は社会の発展のために活かすという事をモットーにしていた。従って事業活動においては誰から見ても正しい方法で利益を追求しなければならず、又、その最終目的はあくまでも社会に役立つ事にあった。

つまり世のため人のためという利他の精神が、私益よりも公益を図る心が、初期の資本主義の倫理規範となっていた。自らに向けては、おのれを律する厳しい倫理を、外に向けては、利他という大義を自分たちの義務としていたのである。その結果、資本主義経済は急速の発展を遂げる事となる。

我が国でも、江戸中期の思想家、石田梅岩は、『商人の売利は武士の禄と同じ』と述べ、商人が利を得る事は、武士が禄をばらばらと同じ正当な行為であり、決して恥すべき事ではない、と商人を励ましている。

『利を求むるに道あり』という言葉があるが、利潤追求は決して罪悪ではない。ただし、その方法は人の道に沿ったものでなくてはならない。どんなことをしても儲かればよいというのではなく、利を得るにも人間として正しい道を踏まなくてはならないと、商いにおける倫理観の大切さを説いたのである。

『誠の商人は、先も立ち、われも立つことを思うなり』梅岩の言葉ですが、要するに、相手にも自分にも利のあるようにするのが商いの極意であり、そこに『自利利他』の精神が含まれていなくてはならないと、述べている。

職業奉仕は、根の部分、ロータリーの根幹を形成するものである。『根浅ければ、即ち末短く、本傷るれば即ち枝枯る』の譬えのように、職業奉仕をしっかり理解し、実行して行く限り、やがて花が咲き、実がなるであろう。曾て Paul Harris は言った、『from tiny acorns, big oak trees will grow』と。

四つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

2. 人道的奉仕の理念

五大奉仕

- ① クラブ奉仕
- ② 職業奉仕
- ③ 社会奉仕
- ④ 国際奉仕
- ⑤ 新世代奉仕

ロータリー学問をするために、ロータリーに入会するのではない。奉仕をする為に、入会するのである。奉仕とは何か、世のため、人の為になる事を実践する事である。さすれば、如何に実践するか、その行動の仕方を学ぶ、まねて行く所に、ロータリーの神髄がある。

霧の中を行けば、覚えずに衣湿るといふが、真のロータリアンの日々の行動から、まねて行くのである。ロータリーを学ぶという事は、自己を学ぶ事である。自己を学ぶという事は、自己を忘れる事である。

▶ クラブ奉仕

日本では、会員減少に歯止めがかからない。何故か。原因の追求が喫緊の課題である。

会員増強・維持 目標：純増3%、3年間維持

- a) 会員を増やす…ロータリーの魅力を説明し、勧誘に努める
ターゲットとして、女性会員・団塊世代・若年層・
一旦退会したロータリアンを再入会
- b) 会員の現状維持…会員の孤立化を避ける、会員の特質を活かす努力
- c) クラブ拡大

▶ 社会奉仕

- ① 地区方針「奉仕を通じて幸せを」
平和に関する卓話、会議、討論会
地域社会との連携、協力
- ② 就職支援活動
- ③ 結婚相談

④保健（医療）

- i 禁煙活動
- ii がんの予防
- iii メタボリック シンドローム・心疾患・糖尿病・脳血管障害
- iv 加齢に伴う疾患対策：聞こえの悪さと耳なり、骨粗鬆症に伴うめまい
- v 白内障
- vi 精神的疾患（自殺の問題、リスト・カット、鬱病、その他）
- vii 高齢者対策の見直し（高齢化時代に、如何に対処するか）
65歳以上でも働く「意欲と能力」のある人は高齢者と認めず、現役世代に組み入れるという政府の選択
- viii 認知症との関わり
- ix 花粉症対策
- x HIV 対策
- xi 献血運動

⑤貧困 相対的貧困について（生活保護者の増加）

⑥人口問題 少子化への対応

団塊世代の増加

⑦環境保全 地域社会の美化運動

緑を増やす運動：花壇の設置（プランター）、

季節の花の提供、花一杯運動

ポイ捨て防止運動

排気ガス対策

交通規則厳守の徹底

⑧識字率 正しい言葉の使い方、話し方

正しい漢字の書き方、読み方

読書の習慣

本の寄贈

⑨慈善事業 地域社会、地域の学校（Interacter）を取り込んだ催しの実施

ダンスパーティ

音楽会の開催、鑑賞等

各種スポーツ大会支援

▶ 国際奉仕

①国際社会奉仕プロジェクト

姉妹クラブとのジョイント事業

財団資金（新地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント）を使用しての事業

VTT その他

海外への本の寄贈：日本の紹介

②ロータリー友情交換

▶ 新世代奉仕

- ①ライラ（青少年指導者養成プログラム）
 - ②インターアクト
 - ③ローターアクト
 - ④青少年交換事業
- RI テーマ『奉仕を通じて平和を』を推進する上で重要な事業

▶ ロータリー財団委員会

- ①財団への寄付 年次プログラム基金 毎年あなたも 100ドルを
恒久基金
使途指定寄付（ポリオ・プラス基金等）
その他（冠名基金等）
- ②Future Vision Plan 世界でよいことをしよう
for the purpose of doing good in the world
in charitable, educational or other avenues.
2013～14年度から全世界で実施
2012～13年度は、出来るだけ早期に準備の事
- ③補助金の構成 新地区補助金とグローバル補助金
（6つの重点分野のみ）
◆クラブ及び地区計画補助金
◆パッケージ・グラント
- ④ロータリー平和フェローシップ
- ⑤ポリオ・プラス・プログラム

▶ 公益財団法人 米山記念奨学会

全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業

国際大会への参加

2013年6月23～26日 ポルトガル（リスボン）

地区大会記念ゴルフ大会

2012年10月22日（月曜日）天野山カントリークラブ

地区大会

2012年10月27日（土曜日）スターゲイトホテル関西エアポート

2012年10月28日（日曜日）国際障害者交流センター ビッグ・アイ（堺市）

国際ロータリー第2640地区 直前ガバナー

大澤 徳平



未だかつてない異例中の異例な年をガバナーとして勤めました。
その数々を追いながら一年を振り返ってみる。

1. 事の発端は 2011 年 4 月 14 日H本人が DGE辞退から幕は上がった。
2. 6 月 8 日RI会長レイ・クリングスミス直々のメールでDGE 指名される。
3. DGを務めるための 2 年間の助走はわずか 3 週間だけの助走となった。
4. 所属クラブでは残念ながら理解は得られず。(急な話で勝手にやれという)
5. 地区協議会が年度始まった 7 月 10 日・PETSは 8 月 7 日開催という有様。
6. 予算では繰越金が異常に多いのでクラブからの分担金を 0 円とする。
7. その他ファンドも 0 円 地区大会登録料のみ拠出願う。
8. 一クラブ一クラブ公式訪問を行い修復に務める。IMは開催しない。
9. 公式訪問の際のガバナーアドレスができないクラブ 3 クラブありました。
10. 同行の代表幹事の出席拒否 3 クラブあり。
11. 公式訪問開始 8 月 25 日 最終 3 月 29 日 (台風水害のため一部延期あり)
12. 所属クラブのご理解が得られなかったため、逆手を取って小さいクラブからもDGは出せるモデルを示した。
13. 代表幹事も他クラブから、副代表幹事は近隣クラブから 1 名ずつの連合体。地区大会も新しいクラブにホストを務めて頂きました。
14. インターアクトクラブ海外研修に85名参加。近年まれな多数の参加。
15. 帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校インターアクトクラブ創立。10 月 30 日認証状伝達式を行った。
16. 新会員に対する研修は福岡の廣畑 PDG に依頼、セミナーを開催する。
17. 会員に対してもロータリアンになっていただくためのRLIを計4回開催。
18. 地区大会記念ゴルフ大会は当日のみ晴天で前後は雨。ラッキーでした。
19. 地区大会は台湾から呂 春榮 ご夫妻を迎え、堺市内で盛大に開催出来ました。(特別講演 渡辺元RI理事、作家 家田荘子氏)
20. タイ国で開催された世界大会は地区からは 156 名、ジャパンナイトに 122 名ご参加くださった。
21. 高石ローターアクトクラブ創立。6 月 21 日認証状伝達式を行った。
22. 地区スローガン「笑顔で握手」に務めましたが、力不足でした。
23. 最終月には末期ガンの手術(和歌山北RCの問題 解決へ)を行いました。
この手術が成功したか否かは後々の方々でご判断されることといたします。

ご理解・ご支援くださった全てのロータリアンの皆様に感謝。感謝。心から御礼申し上げます。

6 月 30 日夜 玉手箱を開けましたが未だ変化はありません。7 月 1 日からは一ロータリアンとして世のため人のためにご奉仕をさせて頂きます。ありがとうございました。

国際ロータリー第2640地区 ガバナー

北中 登一



この一年、本当にお疲れさまでしたと、心から労いの言葉を申し上げたい。当初、地区は分裂か、破滅かと真剣に考えざるを得なかった、まさに地区存亡の危機にあったのです。実際の弾丸は飛ばなかったけれど、ある意味で弾丸以上の、精神を一発にして狂乱に陥れるような、中傷や暴言が飛び交いました。万事休す、と誰もが思ったに違いありません。そんな最悪の状況の中で、歳も家庭も考えず、ただひたすら地区の再興を考えて、重責をお引き受けになった、それが大澤徳平様でした。

4年前に最愛の奥様を亡くされ、髭ぼうぼうの翁になられたお姿に、慰めの言葉もありませんでした。生まれてきた以上、誰でも終焉を迎えるもので、大澤様もこれでおしまいかと(失礼)、正直、そう思ったものです。そしてどんな運命のいたずらか、2011年7月、二度目のガバナーとして職務に復帰されたのです。そこには髭面のない、不死身の大澤様のお姿がありました。

私が、初めてお会いしたのは、大澤様が1992～1993年度のカバナーに就任された時です。飛ぶ鳥落とす勢いのある方やなあの、第一印象でした。髪の色といい、独特の声といい、ブレザーといい、全てが奇抜でした。こんな人がガバナーになるのかと、感心したものです。与えられた役職は青少年交換委員長。今までの慣習と違って、各委員会4人体制、且つ青少年交換委員会は青少年部門となったのです。部門はどこでもいいが、委員会がたった4人とは、この委員会の特色をガバナーは何もご存じないではないか。すぐ直訴し、そして2人増員し

てもらったのスタートとなりました。当時は、千万人といえども我往かん気概をもって頑張っていましたし、大澤様も同じ考えであったと思います。同じ委員会の和田先生から、私を評して、猪突猛進する人間やと言われ、喜んでいいのやら、腹をたてていいのやら、複雑な気持ちになりましたが、そんなことはお構いなく、とにかく必死になって職責を全うすべく頑張りました。それが良かったのかどうか、地区大会で大澤様から表彰されたのです。感激した事、今でもはっきり記憶しております。

大澤様の御蔭で、5月末日にオーストラリアはメルボルンで開催された第84回国際大会に初めて出席させて戴きました。当時のRI会長 Clifford Dochterman の立て板に水を流すような名演説には度肝ぬかれました。

私を生んでくれたのが松原 RC、育ててくれたのが大澤様でした。いろいろな思い出があります。交換学生の日本の古き伝統文化習得に、能舞台を通じてご協力戴きました。面を付けての印象に、全ての学生が素晴らしいと、顔を赤らめながら語り、その横で奥様がほほ笑んでおられました。幸せの一瞬でありました。時が経ち、再びガバナーとして檜舞台にお立ちになるとは、誰が想像したことでしょう。

今回、大澤様の前にも後ろにも『忍』という一字がありました(心に刃です)。一見ひょうひょうと何事もないように、無関心に仕事をされていたようですが、耐えて、辛抱されていたのですね。

六波羅蜜のひとつに『忍辱』という言葉があります。もろもろの侮辱、迫害を忍受されておうらみにならなかった。何故気づいたかということ、誰もいない部屋で私に、『しんぼうしいや、しんぼうやで』と一言、おっしゃったのであります。翁になられ、神に近づかれた方からのお言葉です。はっとしましたね。然るに、朝の来ない夜はないといひます。あれほどの暗闇も次第、次第に夜明けに向かっていきました。大澤様はじめ関係各位のご努力の賜物です。そして間もなく、太陽は東の空に昇る事でしょう。丁度天照大神が岩戸から出てこられた時に、周囲のみんなの面が白くなったように。有り難う御座いました。お世話になりました。しばらくは、ゆっくり休養し、そして折に触れてご指導いただければ幸いです。

国際ロータリー第2640地区 ガバナーエレクト
久保 治雄



いよいよ2012年～13年度のスタートです。本年度の国際ロータリー会長は、我が日本から選出された田中作次氏です。テーマは、「Peace Through Service・奉仕を通じて平和を」と掲げられました。先の大戦で数百万人の戦死者を出した日本の悲惨さを知る田中会長にとって、平和の大切さをアピールされたことは、時宜にかなったテーマであると思慮します。『哲学・思想事典』によれば、インドのスガタ・ダスグプタは、戦争と平和という二分法を退け、平和の対極にあるのは戦争ではなく、非平和(peacelessness)であるとして、途上国の状況を、特長づける平和概念を提示しています。先進国では、戦争がなければ平和だが、途上国では「戦争がなくても平和ではない」から戦争と平和という二分法は、妥当しないとも言います。こうして「戦争の不在」と同時に、非平和が途上国に特長的な問題であることが認識され、平和概念の再定義に不可欠の新しい前提となりました。ガルトゥングは「戦争もないが平和もない」という状況、すなわち、貧困、無秩序、不安定、不正義、不公平、弾圧、不平等、殺傷、飢餓、疾病、医療施設の不在、低い識字率などを特長とする非平和状況を「構造的暴力」と呼んで、戦争やテロのような「直接的暴力」と区別し、ダスグプタの着想を概念的に練り上げ、その結果、戦争と平和という伝統的二分法とは別に暴力と平和という二分法で分析する道が開かれ、新しい要請に応えることができるようになったと記しています。

ロータリーの持続可能な重点分野にも、

1. 平和と紛争予防と紛争解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率の向上
6. 経済と地域社会の発展

の6項目が提起されています。平和は、我々ロータリアンの切なる悲願でもあり、最終目的でもあります。

北中登一ガバナーは、地区方針として「Happiness Through Service・奉仕を通じて幸せを」とされました。幸せの感じ方も人それぞれによって異なりますが、平和と同じく幸せも、人類が生きてし生ける限り求め続けるテーマでもあります。坂村真民氏の詩集に「念ずれば花ひらく」と言う詩があります。私の大好きな言葉をご紹介します。

念ずれば 花ひらく
 苦しいとき 母がいつも口にしていた
 このことばを わたしもいつのころからか
 となえるようになった そうしてそのたび
 わたしの花がふしぎと
 ひとつひとつ ひらいていった (坂村真民)

RIのテーマ「奉仕を通じて平和を」・地区の方針「奉仕を通じて幸せを」この二つのテーマを念じて、力強く行動し、花ひらくことを切に願い、本年が、ロータリアン皆様のご家族のご健康と事業発展がかなえられます事を祈念申し上げ、ガバナーエレクト就任のご挨拶とさせていただきます。



2012-13 年度ガバナーエレクト

久保 治雄 KUBO Haruo

1943 年東京都生まれ

- 最終学歴 近畿大学法学部卒
慶応義塾大学 法学部大学院 現代行政研究会 研究委員歴任
- 職 歴 株式会社 ハンワ薬局 代表取締役
報道機関 主宰
- 公 職 社団法人岸和田青年会議所 理事長（1983 年）他
- ロータリー歴 1984 年 8 月 15 日 岸和田ロータリークラブ入会
1994～95 年 地区幹事（月信担当）
1995～96 年 地区環境保全委員
1996～97 年 地区環境保全委員長
1997～98 年 地区社会奉仕委員長
2000～01 年 クラブ会長
2003～04 年 ガバナー補佐
2008 年 2 月 RI5040 地区 カナダ・バンクーバー RC に移籍
2008～09 年 ロスアンジェルス国際大会SAA
2012 年 1 月 1 日 泉州 KUMATORI ロータリークラブに移籍
2012 年 2 月 ガバナーノミネー確定宣言
2012 年 5 月 国際大会にて選任（ガバナーエレクト）
2012 年 7 月 ガバナーエレクト就任
- R 財団寄付 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（5 回）
ベネファクター（1 回）
- 米山寄付 マルチプル（7 回）
- 著 書 大学教授になった不登校児（第三文明社）
り・すたーと（論創社）



IM 1 組

廣本 喜亮
田辺 R C



IM 5 組

井上 隆彦
松原 R C



IM 2 組

門脇 孝文
海南 R C



IM 6 組

雪本 孝治
岸和田東 R C



IM 3 組



IM 7 組

高橋 重明
大阪金剛 R C



IM 4 組

福岡 重弘
粉河 R C



IM 8 組

大仲 広司
堺おおいずみ R C



クラブ名	会長名	幹事名
有田	脇村 重徳	山下 和希
有田南	畑中 一伸	垣内 欣久
有田2000	芝 毅	樋口 明
藤井寺しゅら	細木 博	清水 柁人
御坊	家永 信彦	原 均
御坊東	龍田 安廣	小池 佳史
御坊南	塩路 哲英	田淵 光彦
羽曳野	山本 正明	清水 通雄
羽衣	山條 康次	谷野 一彦
橋本	曾和 正	米田 恵一
橋本紀ノ川	大沼 郁夫	松山 雅昭
岩出	木下 智弘	溝川 保博
和泉	杉本 昌史	浅井 義一
和泉南	前田 宏明	辻 房克
泉大津	高寺 壽	森口 和信
泉佐野	木戸 通夫	向井宇佐雄
海南	岡本 慶一	山野 利明
海南東	花田 宗弘	中西 秀文
海南西	松本 雅博	日置 輝
貝塚	塩谷 一郎	柳生 元成
貝塚コスモス	田端 隆彦	木下 保
関西国際空港	木村 祐士	田中 義久
河内長野	森下 裕子	大北 和繁
河内長野東	西浦 啓之	南 良幸
岸和田	久禮三子雄	角家 篤
岸和田東	加藤 寿昭	坂本 道子
岸和田北	岸 勘治	谷口 正雄
岸和田南	松林 俊和	西村 滋二
粉河	平井 貴	居垣 徹哉
高野山	平野 一夫	大岡 正敬
串本	南 慶一	山本 憲明
松原	吉村 盛善	中西 彰
松原中	上西 義隆	木本 圭二
美原	泉並 正	脇田 裕行
那智勝浦	庵野 了嗣	加藤 康高
大阪金剛	山田 博光	三浦 樹紀

クラブ名	会長名	幹事名
大阪狭山	米澤 清和	山田 正人
りんくう泉佐野	濱本 覚	南 利昭
堺	信田 圭造	奥野 拓司
堺東	中野 均	城戸八重子
堺北西南西	田口 隆	田中 武治
堺泉ヶ丘	中井 文哉	大塚 敏幸
堺北	徳田 稔	辰 正博
堺南	南 延弘	浅香 收
堺中	富田 康則	山本 悦司
堺西	松岡 晋	宮本 勝
堺おおいずみ	西尾 幸祐	内矢 隆三
堺フェニックス	石田 得子	中井 崇嗣
堺清陵	樋川 政次	高瀬 悟
堺東南	山本 保	鶴 宏文
堺フラワー	飯岡 典子	松井佐和子
泉南	野上 浩實	片木 哲男
泉州KUMATORI	吉川恵三子	東 秀昭
新宮	関 康之	谷口 泰仁
白浜	岩橋 修	北 裕喜彦
太子	坂本 修司	内海 茂
高石	松井 哲治	嶋田 剛康
高師浜	十代 勝利	永山 健二
田辺	中松 村夫	長井 保夫
田辺はまゆう	南 憲男	川本 博司
田辺東	橋本 隆	吉本 正美
富田林	堀野 俊男	横山 素夫
富田林南	濱田 陽	古川 元一
和歌山	和中美喜夫	林 俊行
和歌山アゼリア	掛下 吉三	井上 晴喜
和歌山東	島 公造	山本 進三
和歌山城南	中芝 康順	弥勒多加志
和歌山北	笠野 義二	若杉 昌孝
和歌山南	大山 典男	山田 守
和歌山中	吉田 博信	横田 榮夫
和歌山西	中筋 正浩	利光 慎二
和歌山東南	吉田 遼	鯨 拓也
Rotary E-Club Sunrise of Japan	柳瀬 智明	豊澤たつみ

❖ 新入会員のご紹介 ❖



山田 理司
やまだ ただし

所属クラブ：御坊南
職業分類：畳製造販売
生年月日：1955年5月25日



中島 宏
なかじま ひろし

所属クラブ：堺
職業分類：電力供給
生年月日：1957年7月16日



Noguchi Metee
ノグチ メテー

所属クラブ：堺フラワー
職業分類：観光
生年月日：1947年10月16日



Sarakunemonte Mathanaplaawe
サラクネモンテマダナパラウエ

所属クラブ：堺フラワー
職業分類：看護学校
生年月日：1970年10月14日



豊川 剛史
とよかわ たけし

所属クラブ：堺フラワー
職業分類：日用品販売
生年月日：1977年9月12日



光野 有二郎
こうの ゆうじろう

所属クラブ：堺フラワー
職業分類：介護事業
生年月日：1975年1月13日



小林 信二
こばやし しんじ

所属クラブ：新宮
職業分類：都市ガス供給
生年月日：1961年1月13日



秋月 史成
あきづき ふみなり

所属クラブ：田辺はまゆう
職業分類：自動車整備販売
生年月日：1968年9月2日



下原 聖治
しもはら せいじ

所属クラブ：和歌山北
職業分類：生命保険
生年月日：1967年2月7日



山崎 市郎
やまざき いちろう

所属クラブ：堺北
職業分類：マリーナ業
生年月日：1948年7月4日

❖ 訃報 ❖

慎んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。



谷口 明 様
堺南RC

1935年6月24日 生
2012年5月12日 死去

在籍期間：15年
職業分類：運送業



廣澤 禎三 様
白浜RC

1919年4月10日 生
2012年4月21日 死去

在籍期間：50年
職業分類：名誉会員
表彰：ポール・ハリス・フェロー



山田 剛弘 様

和歌山東南RC

1928年10月11日 生
2012年5月20日 死去

在籍期間：18年

職業分類：建設業

表彰：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー1回
第1回米山功労者

PHF・MPHF・ベネファクター 認証者
2012年5月

F・・・ポール・ハリス・フェロー 数字・・・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー BE・・・ベネファクター

Club	Name	
Hagoromo	Naoshi Fujisawa	F
Sakai West	Shusaku Yamada	5

米山功労者
2012年5月

クラブ	氏名	表彰名
堺西	濱口 正義	第40回 米山功労者メジャードナー

米山功労クラブ
2012年5月

クラブ	表彰名
貝塚	第29回 米山功労クラブ



ハイライトよねやま 147

1 寄付金速報 — 今年度最後のご協力を！ —

5月までの寄付金は、前年同期と比べて1.5%減、約1,800万円減少の11億8,400万円となりました。普通寄付金が0.7%減、特別寄付金は1.9%減でした。また、5月単月の寄付額も昨年より60万円減少しました。

今年度も残り半月です。今年度の普通寄付金をすでにご送金いただいたクラブは、昨年は5月末現在で2,232クラブであったのに対し、今年度は2,166クラブと、66クラブ減少しています。5月末には、板橋敏雄理事長から各地区ガバナーに宛てて、これまでのご寄付に対する御礼と、今年度最後の寄付増進に向けたお願いの文書を郵送しました。普通寄付金・特別寄付金ともに、6月29日（金）当会口座入金分までが今年度の寄付実績となります。ぜひとも今年度最後のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 「東京米山ロータリーEクラブ 2750」が創立

第2750地区（東京）で6月2日、日本で3番目のEクラブ、東京米山ロータリーEクラブ2750が創立されました。スポンサークラブは、米山学友を中心として2年前に設立された東京米山友愛ロータリークラブです。創立会員27人のうち米山学友は16人、メンバーの国籍は7カ国にわたるといふ、スポンサークラブ譲りの国際色の豊かなクラブです。

総会当日は、田中作次RI会長エレクトのご出席のもと、小沢一彦ロータリー財団管理委員、片倉章雄ガバナー代理の市川伊三夫パストガバナー、板橋敏雄米山記念奨学会理事長らの祝辞を受け、盛大な創立総会となりました。特別代表の関博子氏は「当地区で米山学友を中心としたEクラブを創立し、世界を繋ぐネットワークを作るというのは片倉ガバナーが掲げられた目標」と言い、当日病気のためにやむなく欠席となった片倉ガバナーのEクラブ創立に向けた強い思いを訴えました。このほか、クラブ定款・細則の採択、理事役員を選出、国際ロータリーの加盟申請が行われ、初代会長に就任した米山学友のファオジア・ディナさん（インドネシア／2008-10）は、奨学生としてお世話になった東京昭島RCの全会員、特に、親身になって支えてくれた渡辺和義カウンセラーに深い感謝を示し、「初代会長として推薦されたことを深く受けとめ、先輩ロータリアンから多くを学んでいきたい」と、決意を語りました。

田中作次RI会長エレクトは、「スピード感のある社会の中で、従来の方式から脱皮すべく新しい形式のクラブが創立されるのは必然であり、若い層の入会の道として整えるべき点である」と力強く述べ、板橋理事長も「米山学友は“Peace Through Service”の担い手として大きな役割がある」と、第2750地区で創立されたEクラブに対して大きなエールを贈りました。



片倉章雄ガバナーは、創立総会開催を前に、5月30日に他界されたことが、6月5日に発表されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

3 第2回理事会開催報告

公益財団法人となって2回目の理事会が6月7日、都内のホテルで開催されました。

全国から32人の理事と3人の監事が出席し、板橋敏雄理事長による進行のもと、2012年度事業計画・収支予算がそれぞれ原案通りに承認されました。また、前回の理事会で決議された2013学年度奨学生採用数700人について、地区別割当数算出方法と募集要項を審議しました。このほか、公益財団法人移行に伴い、現在の理事・監事の任期が今年9月開催の評議員会までとなるため、役員候補者指名委員会を設置することが決議されました。

会議終了後、中澤剛理事(第2530地区)から発言があり、福島県の浪江RCと富岡RCは全会員が避難生活を余儀なくされているにもかかわらず、今年度も、米山記念奨学会へ多額の寄付をしていることが報告されました。板橋理事長は「大変困難な状況にありながらご寄付を頂戴したことに感謝を申し上げたい」と、即日両クラブへ礼状を送りました。



4 大勢が参加して絆を確認 ー第2770地区学友会総会ー

6月2日、第2770地区(埼玉県南東部)米山学友会の総会がさいたま市内で開かれ、奨学生と学友56人と、パストガバナーや歴代の地区米山記念奨学委員長、カウンセラーなどロータリアン44人が参加。久しぶりの再会に会場のあちらこちらで笑顔がこぼれました。



同地区の学友会総会は例年、役員中心の小規模なものでしたが、磯貝九万地区米山奨学委員長のアドバイスもあり、今年は学友会総会実行委員会を組織して多くの奨学生・学友に参加を呼びかけ、学友自らの手で準備をすすめました。

ロータリー米山記念奨学会監事を務める坂巻幸次氏は「私がガバナーだった時代は学友会活動が活発だったので、久しぶりに(大規模な)総会が開かれて感無量」と喜び、三国明ガバナーも「今後、ロータリーとの連携で豊かに発展する可能性がある」と、学友会への期待を語りました。



会場が最も盛り上がったのは、スカイプ(無料のインターネット電話サービス)を利用した海外在住学友とのテレビ電話。学友の顔がスクリーンに映し出され、「みなさん元気ですか? 私は今、中国の大学で学生に日本語を教えています」、「私は会社の研修で台湾にいます。新婚生活で楽しい毎日です」など、2人の学友

が登場してそれぞれ現在の仕事や生活について話し、会場からは何度も拍手が沸き起こりました。

同学友会会長の李成哲さん(中国/2005-06/川口モーニングRC)は、「われわれ学友は世界のどこにいても、日本のロータリアンのことを忘れていない。今日を新たな出発点とし、今後ますます花を咲かせ、実らせ、種子を飛ばしていきたい」と、抱負を述べました。

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より

◎「あなたにとってロータリーとは何か 改訂版」 菅野多利雄 2012 23p

[申込先：緑ヶ丘病院 FAX(022)366-6243]

◎「国際ロータリーの考え方」 田村泰三 2012 1p (D.2710月信)

◎「CLP アンケートについての考察」 前田眞実 2010 4p (D.2720月信)

◎「続まことのロータリアン」 大澤徳平 2012 1p (D.2640月信)

◎「クラブの「多様性」について」 積 惟貞 2012 1p (D.2620月信)

◎「P.F.ドラッカー5つの質問」 国永秀男 2011 4p (D.2680 地区大会記録誌)

◎「中国『大国化』のなかでの日米関係」 松尾文夫 2011 4p (D.2650 地区大会記念誌)

◎「国際社会における日本の立場」 青山繁晴 2011 4p (D.2660 地区大会記録)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

2015～2016年度 ガバナーノミニ一候補者推薦書提出のお願い

RI 細則 13.010、13.020.4 の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により、地区内の各クラブで 2015～2016 年度ガバナーノミニ一候補者がおられましたら、8月31日までに地区ガバナー指名委員会（地区ガバナー事務所）宛に必着するよう提案してください。

なお、地区ガバナーノミニ一の資格条件については、国際ロータリー細則 15.070、15.070.1～15.070.5、15.080 の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニ一候補者の選出を行うにあたっては、その選出の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない、ということをご了承下さい。

国際ロータリー細則第 13 条 13.020.5（参照）

【提出先】

国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー事務所内
地区ガバナー指名委員会宛
〒590-0021 堺市堺区北三国ヶ丘町 1-1-16 C-14
Tel 072-224-2640
E-mail kitanaka-2012@rid2640g.org

【締め切り】

2012 年 8 月 31 日 午後 5 時まで

第2640地区 出席報告 (2012年5月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	5月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	5月 出席率	平均 出席率
	11.7.1	5月末	5月	累計	5月	累計					11.7.1	5月末	5月	累計	5月	累計			
有田	33	31	0	0	0	2	4	92.52	93.27	大阪狭山	8	6	0	2	0	4	4	83.30	84.90
有田南	33	33	0	1	0	1	4	91.02	96.35	りんくう泉佐野	21	20	0	0	0	1	4	84.21	84.05
有田2000	13	15	0	2	0	0	4	86.67	87.42	堺	65	68	1	8	0	5	4	88.02	91.15
藤井寺しゅら	10	8	0	0	0	2	4	81.30	84.90	堺東	32	32	0	1	1	1	4	97.47	97.39
御坊	48	47	0	1	0	1	3	80.60	83.18	堺北西南西	18	18	0	0	0	0	4	72.05	78.87
御坊東	15	15	0	0	0	0	5	89.33	85.39	堺泉ヶ丘	22	24	0	2	0	0	4	95.83	93.98
御坊南	26	28	1	2	0	0	4	82.41	82.45	堺北	29	29	1	3	0	3	3	86.20	84.45
羽曳野	15	16	0	3	0	2	4	100.00	95.52	堺南	23	20	0	0	1	3	4	88.73	87.48
羽衣	15	16	0	1	0	0	4	78.12	81.57	堺中	19	21	0	3	0	1	4	84.52	83.03
橋本	49	53	0	5	0	1	4	92.25	89.02	堺西	16	16	0	0	0	0	4	84.89	93.08
橋本紀ノ川	11	10	0	0	0	1	5	92.00	90.89	堺おおいずみ	30	30	0	1	0	1	4	85.00	84.80
岩出	27	29	0	2	0	0	4	88.55	89.30	堺フェニックス	29	28	0	2	0	3	4	79.48	80.09
和泉	28	28	0	1	0	1	4	91.23	88.21	堺清陵	19	16	0	0	0	3	4	86.67	87.86
和泉南	26	29	0	3	0	0	4	56.03	59.66	堺東南	11	11	0	1	0	1	4	95.23	98.39
泉大津	48	48	0	3	0	3	2	83.53	83.48	堺フラワー	23	39	4	17	0	1	3	100.00	98.40
泉佐野	34	37	0	5	1	2	4	86.05	83.85	泉南	15	13	0	0	0	2	3	83.33	83.78
海南	38	39	0	1	0	0	4	62.03	71.28	泉KUMATORI	22	25	0	4	0	1	3	90.00	93.80
海南東	60	59	0	2	1	3	4	76.80	78.59	新宮	61	63	1	3	0	1	4	80.80	79.91
海南西	18	18	0	1	0	0	4	82.50	84.55	白浜	13	13	0	1	0	1	3	94.44	95.98
貝塚	17	17	0	0	0	0	4	88.24	92.09	太子	10	12	0	2	0	0	3	50.00	64.90
貝塚コスモス	18	17	0	0	1	1	4	75.90	86.18	高石	29	29	0	0	0	0	4	76.00	78.06
関西国際空港	23	21	0	3	0	4	4	84.52	83.66	高師浜	16	17	0	1	0	0	4	82.35	83.02
河内長野	35	32	0	1	0	4	3	78.30	77.60	田辺	82	85	0	6	0	3	4	85.52	86.10
河内長野東	27	24	0	0	0	3	4	98.75	92.77	田辺はまゆう	33	47	1	14	0	0	4	85.64	87.50
岸和田	36	31	0	0	0	5	4	90.08	92.48	田辺東	48	47	0	1	0	2	4	89.77	86.50
岸和田東	47	44	0	0	0	3	3	93.15	92.61	富田林	39	40	0	1	0	0	4	75.74	74.16
岸和田北	14	14	0	0	0	0	4	94.65	98.17	富田林南	17	17	0	1	0	1	4	85.73	84.65
岸和田南	17	16	0	0	0	1	4	90.63	89.36	和歌山	64	69	0	6	0	1	4	83.95	82.68
粉河	21	21	0	0	0	0	5	100.00	99.83	和歌山アゼリア	37	35	0	2	0	4	4	79.28	78.37
高野山	16	18	0	2	0	0	3	85.00	87.81	和歌山東	42	44	0	2	0	0	3	89.13	88.56
串本	13	13	0	0	0	0	5	70.77	72.60	和歌山城南	39	38	0	1	0	2	4	95.23	86.35
松原	30	26	0	1	0	5	4	94.92	93.71	和歌山北	44	43	1	3	0	4	3	77.27	80.47
松原中	22	21	0	0	0	1	4	78.16	81.72	和歌山南	88	86	0	5	0	7	3	87.87	85.06
美原	13	14	0	4	0	3	3	87.00	83.10	和歌山中	29	30	0	1	0	0	3	84.95	85.31
那智勝浦	18	17	0	0	0	1	4	82.81	67.23	和歌山西	22	17	0	0	0	5	4	100.00	93.36
大阪金剛	28	26	0	0	0	2	4	85.48	83.00	和歌山東南	49	50	0	3	1	2	5	82.76	87.42
										Rotary E-Club Sunrise of Japan	4	4	0	1	0	1	4	100.00	100.00

クラブ	7月1日クラブ会員数				5月末クラブ会員数				5月平均 出席率	入会		退会	
	男性	1956	女性	154	男性	1975	女性	158		5月	累計	5月	累計
73	2110				2133				85.52	10	142	6	116